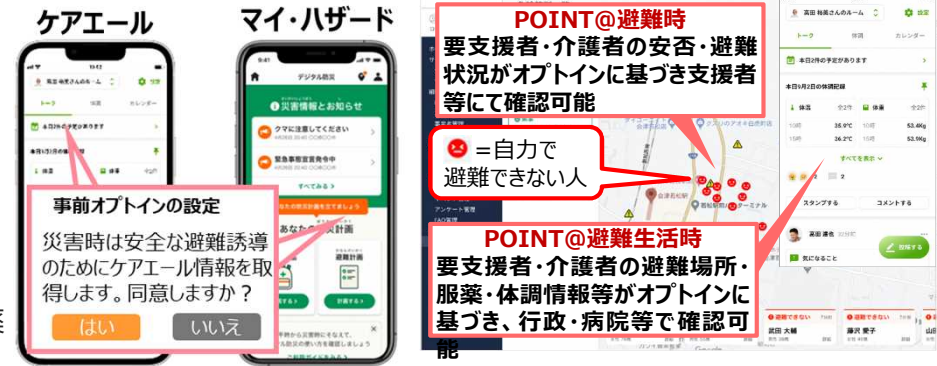


- R3スマートシティモデルプロジェクトについては、8月に合同審査会を開催し、先行モデルプロジェクトとして、20地区を支援。
- R3補正において、補助事業として、スマートシティ実装化支援事業を創設。（別紙）
- R3支援地区のうち、**追加事業の支援要望のあった13地区\***に対して、追加支援を実施。  
 ※仙北市、会津若松市、つくば市、さいたま市、毛呂山町、柏の葉、大丸有、竹芝、羽田、岡崎市、けいはんな、すさみ町、荒尾市。

## 主な事業概要

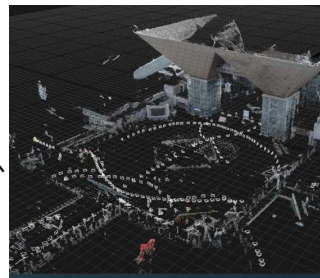
### 会津若松市：デジタル防災×介護

- ビジョン：災害時において弱者となりうる要介護者等の位置情報・安否情報に加え、服薬情報・体調情報等を支援者と共有し、よりパーソナライズされた支援を目指す。
- 要介護者の平時と有事の情報提供範囲・種類等の検証を実施。
- R3事業にて実証を行っている防災アプリ「マイ・ハザード」（個々の避難情報の提供等）に、介護・ケアラー向けサービス「ケアエール」を連携
- ※ケアエール：被介護者のバイタル情報（体温、血圧等）、生活情報（食事量、服薬等）、気持ちの情報を記録し、介護者等で共有する



### 毛呂山町：都市公園申請手続きのデジタル化・3D都市モデルを用いた利活用

- ビジョン：都市公園を中心としたエリア価値向上と賑わいづくり
- 都市公園を中心としたエリアの価値向上と賑わいづくりにむけて、都市公園法に基づく、占用申請から広報、利用後の分析・評価までを、3D都市モデルを活用して一元的に実施するプラットフォームを構築。



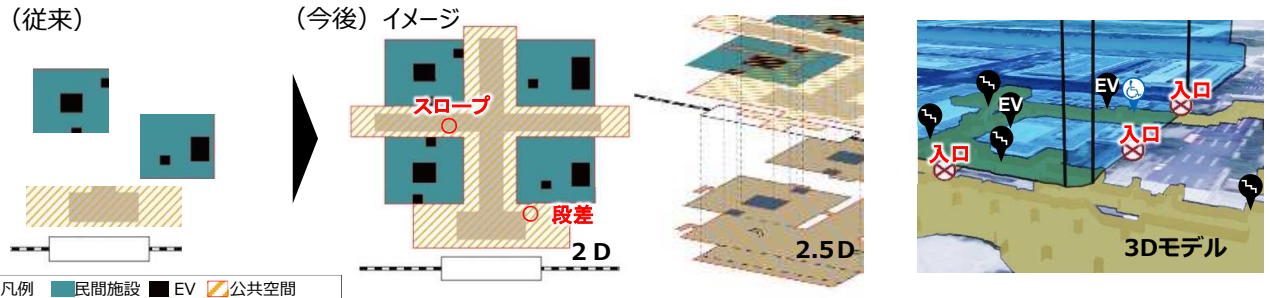
3D都市モデルを用いたイベント協議イメージ

公園利用の手続きの流れに沿って3つの実証実験  
 3D都市モデルを用いた申請から広報、評価まで一気通貫のシステムを構築

- ①：公園利用事業者の申請手続きのデジタル化・簡素化
  - ・都市公園の民間利用促進
  - ・申請手続きのデジタル化
- ②：公園利用に関する町民への3D都市モデルを用いた広報戦略
  - ・イベント時の空間利用
  - ・日常的な公園利用への提案
- ③：公園利用効果の定量化及びアーカイブ化
  - ・通行・滞在人口データ取得
  - ・評価とアーカイブ化

### 大丸有：防災×バリアフリー（地上・地下の3Dデータの連携）

- ビジョン：平時・非常時ともに、要配慮者へ安全な移動経路を提供するとともに、災害時も含めて管理者が必要な情報を把握。
- 2D、階層のつながりがわかる2.5D、立体的な3D等の観点から、民間地図、BIMデータ・地下を含む3D都市モデル等に、エリア内POIデータを付与。官民、建物内外の分断なく、複層階のデータが整備・更新・連携されたデジタルツイン環境を形成。

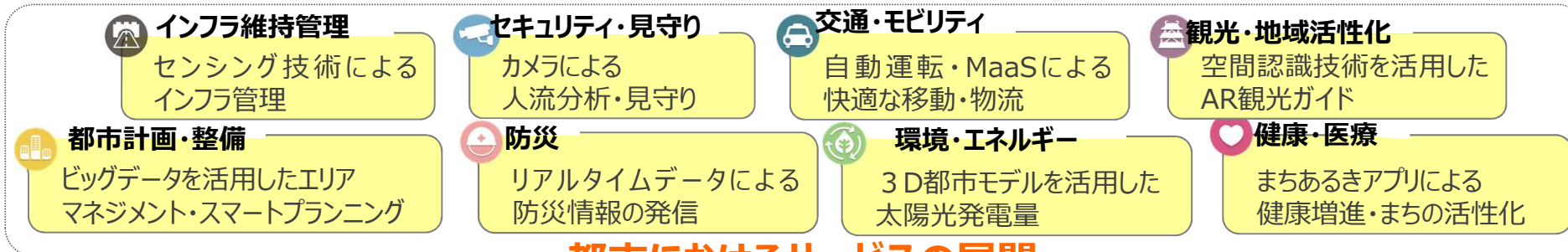


- ・施設情報が公的に共有されておらず、必要情報がエリアで分断
- ・避難計画は2次元的に作成
- ・シームレスなPOI情報の整備によりバリアフリーな移動が担保
- ・リアルタイムな避難経路表示や、車椅子ユーザー向けの動的情報案内（EV運行状況、トイレ使用状況等）が可能
- ・3Dでも確認でき、垂直避難計画の立案・シミュレーションなどに発展も

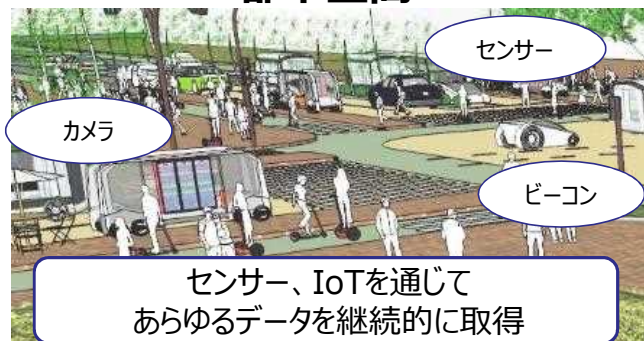
地域のスマートシティ実行計画に基づき、各地域での実装に向けて、**地域・コンソーシアム主導による実証事業を支援**。補助金の交付決定を受けて、**早期の事業着手が可能**。

スマートシティ実装化支援事業  
令和3年度補正予算 **1.4 億円**

## スマートシティのイメージ



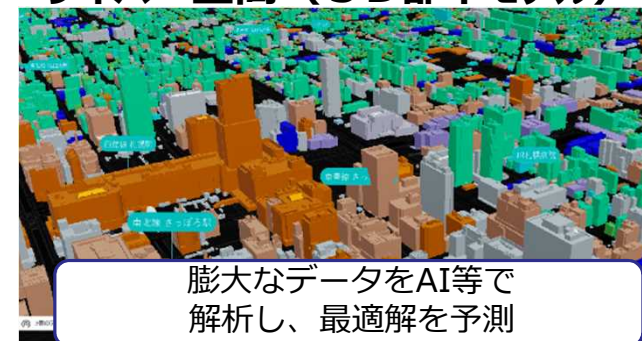
### 都市空間



### 都市におけるサービスの展開



### サイバー空間（3D都市モデル）



## 補助要件等

**支援条件**：①応募者が民間事業者等及び地方公共団体を構成員に含む協議会（コンソーシアム）であること。  
②都市・地域のビジョン、取組内容等を記載した「スマートシティ実行計画」を策定、**コンソーシアムがHPに公開**。

**支援対象**：スマートシティ実行計画に基づく、社会実装に向けた実証事業（2,000万円上限（**定額補助**））  
※実行計画に基づく取組のコンソーシアム負担額が国の補助額を上回ること

**選定方法**：内閣府が設置する合同審査会（有識者会議）の評価を経て、決定

## <実証事業の流れ>

